弥富市が行っている 大規模災害時の連携強化

西尾張9市相互応援協定

7月7日、西尾張9市（一宮、津島、犬山、江南、稲沢、岩倉、愛西、弥富、あま）は、大規模な災害が生じた際の連携強化を図る「愛知県西尾張ブロック9市災害対応に関する応援協定」を締結しました。

地震や水害などの被害に遭った市に対し、生活物資や救援、医療など必要な資機材の提供などを、他の市が円滑に救助できるよう取り決めました。

弥富市・ゼンリンとの災害時支援協定

7月21日、海部総合庁舎において、株式会社ゼンリンと協定締結市町村（愛西、弥富、あま、大治、蟹江、飛島、すでに津島は締結済み）が、災害時に地図製品等を活用できるようにするために、「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」を締結しました。

●貸与される地図製品等
1.B4版住宅地図5冊
2.広域地図5枚
3.WEBで利用できる住宅地図

熊本への被災地支援を通じて パート1

弥富市社会福祉協議会
矢野　恭平さん

支援期間　6月29日～7月5日
活動場所　熊本県熊本市中央区花畑広場および東区動植物園

熊本地震における災害ボランティアセンター運営支援に、東海ブロック内社会福祉協議会職員（以下、社協職員）の一員として1週間派遣されました。東海ブロックは平成28年5月30日より継続的に熊本市社会福祉協議会の支援に入っており、今回で6回目の派遣です。

到着した熊本市中心街では、そこに住む方の普段の生活が展開され、あたりまえの生活を取り戻しているように見えました。

しかし、よく町を見渡すと、ビルの壁はひび割れ、ガラスは補修中、アスファルトは隆起し、高速道路も波打っている状態。墓地は多くの墓石が倒れたままの状態でした。

多くの建物には応急危険度判定の黄色や赤色の札が表示され、立ち入りが制限されているなど、震災の痕跡が多く見られました。実際、滞在中にも余震を何度も体験しました。

また、10キロ弱しか離れていない益城町では、今回の地震の恐ろしさを改めて実感する光景が広がっていました。

避難所には、車中泊の方もたくさんみえました。

熊本県益城町の被害の様子

来月号では、社協職員が現地でどのような活動を行ってきたのか、その活動内容について紹介します！

弥富市においても、いつ大きな災害が起こるかわかりません。
9月の防災月間をきっかけに、自分自身ができる備えについて考えておきましょう。

防災講演会および第1回津波避難計画策定ワークショップの開催

弥富市では、市民の命を津波から守るために、東日本大震災の教訓などを踏まえ、「弥富市津波避難計画」の策定を進めています。

策定に当たっては、地域の地形や都市構造、津波浸水想定・到達時間などの地域特性に応じ、避難行動などの主体となる地域住民の意向を踏まえ、まちづくりとの関係も考えながら、それぞれの地域にふさわしい対策を住民と一体となって進めていくことが大切です。

第1回となる今回は、津波からの避難行動に詳しい専門家の先生を迎えての基調講演会を併せて開催します。市民の皆さんに広く知っていただくことをねらいとしているため、ワークショップに参加できない方は、講演会のみの参加も可能ですので、ぜひこの機会にご参加ください。

と　き　**9月27日（火）**
第1部　午後7時～8時（防災講演会）
第2部　午後8時15分～9時30分（津波避難計画策定ワークショップ）

ところ　**十四山スポーツセンター**

対象者　弥富市に在住する市民、市内に所在する事業所・学校・団体などへの通勤・通学者など（経営者も含む）
※内容・申込方法など、詳しくは9月に配布するチラシや市のホームページをご覧ください。

問い合わせ先　市役所危機管理課（内線362・365）

災害時要配慮者登録を！

災害時要配慮者登録をされた方を市の災害時要配慮者台帳に登録し、地域の自主防災組織、民生委員・主任児童委員のほか、消防団に情報を提供し、災害が発生した時の安否確認や避難誘導などの支援活動を迅速にできるようにする体制づくりを目指します。

登録対象者　市内の自宅などで生活する方で、「災害時に自力で安全な場所へ避難することが困難な方」として、次の方を対象にしています。
1.一人暮らしの高齢者
2.身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付者
3.介護保険の「要介護3から要介護5」の認定者のうち在宅で暮らしている方
4.上記の1から3に準じる方
5.その他市長が必要と認める方

登録にあたって　災害の状況によっては、支援者の多くも被災者になることが考えられ、すぐに安否確認や避難誘導などを行うことができないことも想定されます。この制度に登録することで、災害時の支援が必ず保証されるものではないこと、また地域の事情によっては、こうした支援が困難な場合もありますので、ご承知おきください。

また、災害時の迅速な支援には、日ごろからの地域の方との交流が欠かせません。普段から近隣の方との交流を深め、支援し合える良好な関係を築いておくことも大切です！

※詳しい内容や、登録用紙については、市のホームページをご覧ください。

災害時要配慮者の登録・問い合わせ先　市役所危機管理課（内線362・365）
介護高齢課（内線172・173）
福祉課（内線162・163）

また、11月6日（日）には「平成28年度愛知県・弥富市　津波・地震防災訓練」を行います。
来月号では訓練の詳細を特集します。訓練に参加して「見て」「体験して」防災の意識をたかめましょう。